

# 令和8年度 大島地区中学校総合体育大会 バレーボール競技 大会要項

- 1 主催 大島地区中学校体育連盟
- 2 共催 大島教育事務所、大島地区各バレーボール協会
- 3 主管 徳之島中学校体育連盟
- 4 期日 男子……令和8年6月10日(水)、11日(木)  
女子……令和8年6月9日(火)、10日(水)、11日(木)
- 5 会場 男子……太陽が丘総合運動公園体育館(4面)  
女子……伊仙町総合運動公園体育館(4面)
- 6 参加資格
  - (1) 参加者は、大島地区中体連加盟の学校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校生徒であること。
  - (2) 監督は、当該中学校の学校職員(常勤)・部活動指導員とする(事務職員・主事・司書補等も可)。
  - (3) 引率は、当該中学校の校長・教員・部活動指導員とする。
  - (4) コーチは、当該中学校の学校職員、または、学校長が認め大島地区中体連事務局へ申請済みの外部指導者とする。
  - (5) 同一学校において編成されたチーム及び大島地区中学校総合体育大会における複数校合同チーム編成規定により適正と認められた合同チームとする。
  - (6) 参加資格の特例を認める(開催基準7(8)地域クラブ活動等)。  
※ 地域クラブ活動の参加資格の特例については、鹿児島県中学校総合体育大会開催基準「特別規程」による。(鹿児島県中学校体育連盟ホームページ参照)
- 7 チーム編成
  - (1) 各学校(団体)1チームとし、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手12名以内とする。
  - (2) マネージャーは当該チームの生徒とする。
  - (3) 引率者、監督、コーチ等は、部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等(以下「暴力」)により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長および代表者は、この点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- 8 申込方法
  - (1) 期限  
5月7日(木)までに、下記の申込先に必着すること。
  - (2) 規定
    - ① 「申込書」  
地区中体連ホームページよりダウンロードして入力、学校長・引率責任者押印のうえ、男女それぞれの専門部長へ提出すること。(データ・紙媒体どちらでも可。データで提出する際は、校長印を押した原本をPDF化して提出する。ただし、原本は大会当日に受付に提出すること。)
    - ② 「パンフレット用選手名簿」  
地区中体連ホームページよりダウンロードして、必要事項を入力のうえ、下記メールアドレス宛てにメール送信すること。(Excelファイルでの送信)

(3) 申込先

(男子) 〒894-0015 奄美市名瀬真名津町14-1番地  
名瀬中学校内 男子バレーボール専門部長 吉川 郁哉  
TEL (0997)52-0168 mail : [naze-j@city.amami.kagoshima.jp](mailto:naze-j@city.amami.kagoshima.jp)

(女子) 〒891-7101 大島郡徳之島町亀津2840番地  
亀津中学校内 女子バレーボール専門部長 本田 幸生  
TEL (0997)82-0077 mail : [t781520k@kago.ed.jp](mailto:t781520k@kago.ed.jp)

(4) 参加申込料

- ① 大会に参加するチームは、一人あたり800円(登録メンバー分)を、1日目の受付時に納入する。
- ② 参加生徒数には、マネージャーも含める。

(5) 合同チーム

- ① 大島地区中体連事務局への出場申請
  - ・ 県中体連『競技別大会要項』の「合同様式-1」(No. 1) (No. 2)を、5月7日(木)までに、地区中体連事務局に提出しなければならない。
- ② 大島地区中体連会長の承認
  - ・ 県中体連『競技別大会要項』の「合同様式-2」による大島地区中体連会長の承認を受けたうえで、上記の(1)～(3)により申し込みを行うこと。
- ③ 申込書の提出
  - ・ 申込書記入に際し、学校名を連名で記入し、代表校の学校長名・公印を記入・押印する。また、選手名の備考欄にそれぞれの学校名を記入する。

9 抽選会

5月8日(金)14:00より、金久中学校(「地域開放室」・「技術室」)で、大島地区中体連理事立会いのもとで行う(なお、抽選会に参加希望の監督は出席してもよい)。

10 会場準備

以下の日程で参加可能なチームで事前に準備を行う。(※男子の会場準備は必要なし。)

女子……6月8日(月) 伊仙町総合運動公園体育館 14:00～16:45

11 監督会

大会初日の朝、各会場にて行う。

12 試合方法

(1) 予選リンクまたはリンクトーナメント行っただけで、決勝トーナメント、決勝リーグとする。

※ 試合方法の詳細については、男女ごとに、参加チーム数によって決定する。

(2) 予選結果の順位決定方法は、以下の通りとする。

① 勝敗 ② セット率 ③ 得点率 ④ 抽選

※ ただし予選リーグが四角形で対角線の試合を行わない場合は以下の通りの順位決定とする。

① 勝敗 ② 直接対決の結果 ③ セット率 ④ 得点率 ⑤ 抽選

※ 得点率 = (全試合の総得点数) ÷ (全試合の総失点数)

### 1.3 シード権について

- (1) シードの決定の対象となる大会は、「南大島大会（2月・徳之島開催）」と「北大島大会（4月・奄美大島開催）」とする。
- (2) シード権決定方法は以下の通りとする。
  - ・ 各大会の点数は、1位5点・2位4点・3位3点・4位2点・5～8位1点（3位が2チームの大会は、両チームとも3点）とする。5～8位が複数の場合は、本部で5位・6位の抽選を行う。上記の大会が、1～6位決定のリーグ戦方式で実施された場合には、1位6点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位1点とする。ただし、北大島大会の各順位のシードポイントは、南大島大会のシードポイントとそろえるものとする。

例1：2月の大会が1～8位、4月の大会が1～6位まで決定する場合の4月大会のシードポイント  
1位5点・2位4点・3位3点・4位2点・5位1点・6位1点

例2：2月の大会が1～6位、4月の大会が1～8位まで決定する場合の4月大会のシードポイント  
1位6点・2位5点・3位4点・4位3点・5位2点・6位2点・7位2点・8位2点

例3：例2で、3・4位を決定しない場合の4月大会のシードポイント  
1位6点・2位5点・3位4点・4位4点・5位2点・6位2点・7位2点・8位2点

点数の計算方法は加算でなく、そのチームが持っている最高の点数をもとにシードを決定する。その最高得点と同じ場合には、直近の大会（4月に行われる北大島大会の結果）を優先する。

- (3) シードは、男子は4チーム、女子は6チームとする。2大会でシード数に満たないときは、そのまま抽選を行う。（男子は4チームで固定、女子は県総体出場枠の数）

### 1.4 服装

- (1) 選手は、同一ユニフォーム・同色ソックスを着用し、背番号・胸番号・キャプテンマークは、規定通りにつける。
- (2) 合同チームのユニフォームも、チームとして統一したものを原則とする。ただし、校名連記は義務づけられない。どちらか1校の学校名を使用したものでも構わない。
- (3) 監督・コーチ・マネージャーは、胸部にマークをつける。
- (4) 監督・コーチの服装は、統一された服装（襟付きシャツとスラックス（ジャージ））とする。上着・ズボンは、できるだけ同型・同色・同柄であることが望ましい。

### 1.5 競技規則

2026年度日本バレーボール協会6人制競技規則、および中体連競技規則、ならびに監督会申し合わせ事項による。

- (1) 大会当日の構成メンバー表の提出をもって公式メンバー表となるので、当日会場で受付を兼ねて提出する。
- (2) カラーボール4号検定球を使用する。男子…ミカサ、女子…モルテン
- (3) 公式練習は3分とする。ただし、初日は最初の試合のみ実施する。2日目以降は、全試合実施する。
- (4) 構成メンバー表に記載された者以外は、ベンチに入ることを禁止する。またフロアに入ることができるのは、ベンチ入りスタッフと登録メンバー以外は6名までとする。
- (5) 外部指導者は、大島地区中体連に登録している者以外はベンチ・フロアに入ることができない。また、外部指導者は、競技中及び練習中も大会本部から配布された「外部指導者承認書」を必ず携帯すること。全競技終了後は、大会本部に返却する。

- (6) 連続して試合を行う場合は、15分の間をあける。
- (7) 競技者交代は、クイック・サブスティチューション・システムを採用する。口頭およびハンドシグナルの必要はない。交代競技者はコートに入る準備をしてサブスティチューションゾーン内にいること。
- (8) 監督は、試合を妨げたり遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線上から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォーミングアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、ラインジャッジの視界を遮ってはならない。タイムアウト要求時は、ハンドシグナルを示して口頭で行うこと。
- (9) 各チームとも、試合球（検定球）を1個ずつ準備すること。
- (10) ゲーム中のワイピングは、コート内の選手が行うこと。タイムアウト、セット間は各チームのモップ使用を許可する。ベンチ内の選手の12名の中から、コート内の選手のワイピングをサポートするクイックモップパーを2名待機させることができる。
- (11) 各セット、13点になった時点で、給水のためのタイムアウト（WTO）をベンチ後方とアップゾーンの間程の位置で30秒間とる（監督、コーチは指示してはならない）。

## 16 その他

- (1) 県総体については、大島地区から男子4チーム、女子6チームの出場が認められている。
- (2) 各チームの監督・選手は、ルール・取扱に習熟すること。
- (3) 大会当日、審判員を各チームに1名依頼するので、事前に研修に努めること。また、生徒に、ラインジャッジ・公式記録・得点掲示を依頼するので各チームで指導しておくこと。ルールに習熟した生徒（3年生等）が行うのが望ましい。
- (4) 大会出場の取り消しが生じた場合は、早急に大島地区中体連事務局および専門部長、相手チームに連絡すること。
- (5) 宿泊計画および練習会場は、各学校で対応する。
- (6) 監督・コーチ・選手は、大会要項を熟知しておくこと。なお、服装・容儀面・マナー等についても、事前から十分な指導をしておくこと。
- (7) 大会要項及びマナーについて、保護者へ周知徹底すること。
- (8) 選手の応援のマナーや体育館シューズの利用、ごみの処理等大会当日はもちろん、事前にも十分な指導をしておくこと。
- (9) 各チームとも持ち込んだごみ等は、責任をもって持ち帰ること。
- (10) 表彰については県総体出場資格を獲得したチームのみ表彰する。